

平成25年度事業報告

児童養護施設の現況と施設の取り組み視点

- 国の社会的養護施策においては、「家庭的養護の推進」「専門的ケアの充実」「自立支援の充実」「家庭支援、地域支援の充実」の4つの方向性が打ち出されている。
- 上記、社会的養護のパラダイムシフトへの対応も視野に入れながら、児童養護施設としての「質」と「機能」の向上を目指す。
- 入所児童の権利擁護、職員の援助技術向上、風通しの良い組織運営の実現などの重点課題を中心に取り組む。
- 児童養護施設 双葉学園は、社会が求める福祉サービスとして可視化、純化させ、ハード、ソフトの両面にわたって、入所児童がより安心、より快適に暮らせる生活環境づくりを各フィールド毎の細目につき取り組む。

実現

第1フィールド
児童処遇

第2フィールド
権利擁護

第3フィールド
リスクマネジメント

第4フィールド
地域交流と連携

第5フィールド
職員教育

第6フィールド
その他

フィールドファクター

- 学習支援等の個別サポート
- 進路指導等の自立支援
- 心理療法事業
- ファミリーソーシャルワーク

- 日常的な職員間での権利擁護意識の高揚
- 虐待防止委員会
- 私物・プライベートスペースの管理

- 事故、感染症、災害等の予防にかかる啓蒙

- 地域子ども会等地域行事への参加
- 季節里親の活用
- 学校、行政機関との連携
- 施設行事への招待

- 職員教育研修の企画
- 職員の処遇上の相談（コーチング）
- ケース会議
- ロールプレイ研修

- コスト意識と理解